

口腔顎顔面矯正学分野 特別講演のお知らせ

『顎変形症と歯列不正』

『歯科矯正用インプラントの現状と展望』

日 時 : 2017年6月21日(水) 16:30~18:30

場 所 : 歯学部4階 示説室

演 者 : 不島 健持 先生

神奈川歯科大学 大学院歯学研究科教授
高度先進口腔医学講座 歯科矯正学分野

講演抄録

「顎変形症と歯列不正」

外科矯正治療の対象である顎変形症は、顎骨骨切り術と矯正治療により歯列不正を改善します。いっぽう外科矯正治療の対象でない一般の不正咬合症例も、その多くが程度は小さいものの何らかの顎変形を伴うことが少なくありません。不正咬合の治療では、顎変形を理解することが非常に大切と考えております。

今回は、①複合現実感を伴う手術シミュレーションシステムManMoSを用いた、顎変形および歯列不正の三次元診断と骨格重視の手術シミュレーション、②成長期の不正咬合症例の顎変形と治療、について講義します。

「歯科矯正用インプラントの現状と展望」

近年、絶対的な固定源を提供する歯科矯正用インプラントは、歯科矯正臨床の診断と治療法に大きな影響を与えています。矯正用インプラントを用いることで、大臼歯の遠心移動や圧下など困難とされている歯の移動が予知的に達成される、いっぽうインプラントの脱落、過大な矯正力の適用による歯周組織の障害、などの問題も認められます。今回は、自身の矯正用インプラントの経験と臨床応用の現状に関し報告し、矯正用インプラントを用いた矯正臨床の展望について講義します。

尚、本特別講演は大学院講義(先端口腔科学特論)を兼ねていますので、大学院生の御来聴を歓迎致します。

連絡先: 口腔顎顔面矯正学分野 田中 栄二

(088-633-7357 内線5291) etanaka@tokushima-u.ac.jp